

健康

主な死因の状況

がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病による死因が約6割を占めています。

主な死因の死亡数 (単位:人)

	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	その他
24年	2,303	750	305	233	188	83	91	60	60	31	32	470
25年	2,205	666	322	234	166	87	122	58	41	24	33	452
26年	2,252	686	332	194	193	69	136	43	46	37	44	472

平均寿命

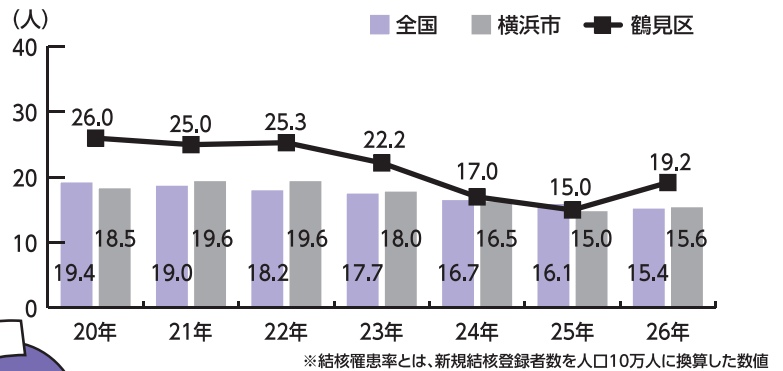
鶴見区の平均寿命(0歳の平均余命)は、男性で18区中17位、女性で18区中14位となっています。

区別生命表:平均寿命 (0歳平均余命) (平成23年)

	男	女
横浜市	80.27	86.30
鶴見区	78.76	85.61
神奈川区	79.75	86.31
西区	79.60	85.22
中区	76.41	84.57
南区	79.07	84.79
港南区	80.59	87.16
保土ヶ谷区	79.45	86.47
旭区	79.71	86.00
磯子区	79.72	86.44
金沢区	81.03	86.75
港北区	81.32	86.94
緑区	81.14	85.84
青葉区	82.04	87.10
都筑区	82.49	86.90
戸塚区	80.95	86.36
栄区	81.38	88.08
泉区	80.76	86.22
瀬谷区	79.69	85.49

結核

鶴見区の結核罹患率は、ここ数年減少傾向にありましたが、平成26年は微増しました。20~59歳までの働き盛りの人の発症が多いこと、約半数が排菌している状態で発見されています。



結核の予防には、栄養バランスのとれた食生活、十分な休息、禁煙など健康管理に注意することが大切だよ！
咳が2週間以上止まらない、微熱が続く等の症状がある場合は、最寄りの内科・呼吸器科を受診しましょう。

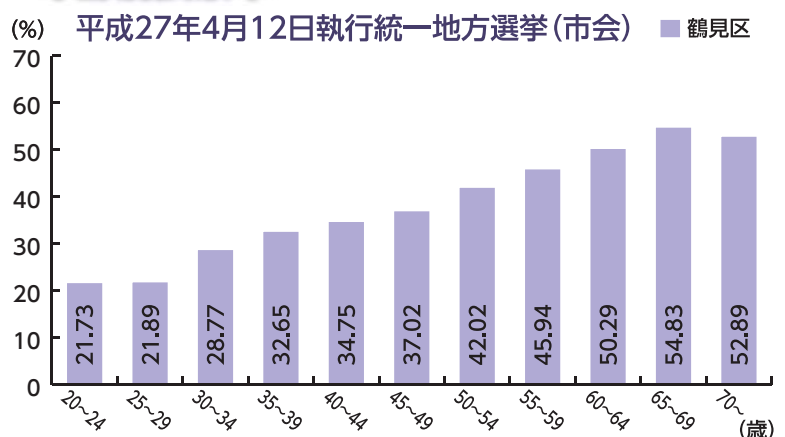
資料:鶴見区福祉保健課

選挙

最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)	
		鶴見区	18区中順位
統一地方選挙(市会)	H27.4.12	39.79	15位 横浜市42.00
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H26.12.14	50.03	17位 横浜市54.06
横浜市長選挙	H25.8.25	26.25	18位 横浜市29.05
参議院議員通常選挙(神奈川県選挙区)	H25.7.21	52.37	16位 横浜市55.54
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H24.12.16	56.72	16位 横浜市60.50
統一地方選挙(市会)	H23.4.10	44.42	17位 横浜市46.73

年齢別投票率



鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が最も低く、若年層の投票率の向上が課題となっています。